

「地球温暖化対策の連携」(H19.5~)

【幹事】 大分県 生活環境部 うつくし作戦推進課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

目的

住民に対する地球温暖化防止の普及啓発活動を各県共同で広域的に実施することにより、その効果を広範囲に広げる。

取組内容・成果

平成20年度より、九州・山口各県と経済界が連携し、住民に対する「地球温暖化防止」の普及啓発活動を広域的に実施している。

【主な活動内容】

- 企業等への地球温暖化対策の取組要請を、九州地方知事会長と経済団体4団体との連名で実施。
- 統一キャンペーン用ポスターを作成。
- 統一キャンペーンの参加事業所や、家庭と事業所における省エネの取組の優良事例を九州地方知事会及び各県のホームページで公開。
- 統一キャンペーン用の標語ポスターを作成、配付。
- 経済団体と共同で環境学習体験プログラム集を作成。
- 九州地域戦略会議が策定した「低炭素社会を目指す九州モデル」アクションプラン重点戦略の推進。
(沖縄県、山口県を除く。)
- 家庭でのCO2削減行動にインセンティブを付与する「九州版炭素マイルージ制度」の実施。
(沖縄県、山口県を除く。)



九州版炭素マイルージ制度ポスター



統一キャンペーン用標語ポスター

10 長崎次世代エネルギーパーク (長崎県佐世保市)

特徴(キーワード)	学費の分類
ハウスステイブスで未来の街づくり体験	<input type="checkbox"/> リリース <input type="checkbox"/> リユース <input type="checkbox"/> リサイクル <input type="checkbox"/> 自然環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> エネルギー <input checked="" type="checkbox"/> 省エネ <input checked="" type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 国際協力
学習内容: 省エネ省CO2の取組体験、環境学習(1日1時間) <input type="checkbox"/> 太陽光発電など、CO2排出量の少ない環境にやさしい次世代エネルギーがどんなものなのか、実際に見て触れて体験できる地域拠点として整備を進めることを目的として2009年にハウスステイブス内に開設。 <input type="checkbox"/> この施設は、この事業所の発電設備と太陽光発電を組み合わせることで、エネルギーの取り組みを総合する展示施設「スマート」や、「太陽電池発電設備」、「天然ガスコージェネレーションシステム」、「ソーラーラック」などが展示されています。 <input type="checkbox"/> 次世代太陽電池である薄膜シリコン型太陽電池を採用した、太陽電池発電設備では、使用した太陽電池パネルは約1000枚(約10㎡)、出力は500kWで、年間1000tCO ₂ 削減効果が期待できる。また、発電機は約350kgで、約100kgの電力を生産することが可能です。 <input type="checkbox"/> また、太陽電池発電設備「ソーラーラック」は、2009年より、交流モーターを利用した電気駆動(産業用)として日本で初めて、日本小笠原島(東京都)より正式認可を受けました。石炭や石油などの化石燃料を全く使用しない、環境に優しい新しい乗り物の実現に向けた取り組みを行っています。	【学入人数】 <input type="checkbox"/> 最大10人(徒歩コース) <input checked="" type="checkbox"/> 最大5人(セグウェイコース) <small>※セグウェイ(アサヒ)の発着場が完成した電動立ち乗り二輪車・移動ロボット</small> 【学入日】 <input type="checkbox"/> 月曜日～日曜日 【対応年齢】 <input type="checkbox"/> 5才以上 【対応時間】 <input type="checkbox"/> 10時～17時30分(予約時間) 【料金】 <input type="checkbox"/> 徒歩コース 16,000円(10人まで) <input type="checkbox"/> セグウェイコース 30,000円(5人まで)
 問い合わせ先 ハウスステイブス総合予約センター TEL: 0956-27-0012(9:00～19:00) URL: http://www.hustambonsh.co.jp/about/energy/index.html	

環境学習体験プログラム集

今後の課題・取組

<課題>

・パリ協定に基づく我が国の温室効果ガスの削減目標(△26%)を達成するためには、これまで以上に九州の官民が一体となって温暖化対策に取り組んでいく必要がある。そのため、戦略会議の「低炭素社会を目指す九州モデル」アクションプランのより一層の推進が求められている。

<今後の取組>

・「低炭素社会を目指す九州モデル」アクションプランの重点戦略である「九州版炭素マイルージ制度(九州エコライフポイント)」の参加者のさらなる拡大等により、一層の普及を図る。